

園長室だより (さむたいむず)

令和7年5月30日第2号 大阪市立桃園幼稚園

5月に入り、昼間の気温が急に高くなっています。朝晩の気温の差が大きいと、体の不調にもつながります。しっかり睡眠をとり、元気に過ごしてください！

幼稚園では、水を使った遊びがとても楽しそうです！色水遊び、シャボン玉遊び、砂場で泥遊びなど、水に親しんで遊んでいます。

また「保育参加」もあり、保護者の皆様と子どもたちが同じ目線で遊び、子どもたちの会話や友達同士の関係など、中に入って遊ぶからこそ見えてくる子どもたちだけの世界を体験してもらいました。保護者の皆様が一緒に汗をかき、遊んでくださっている姿に驚きましたし、桃園幼稚園の保護者の皆様の「一緒に遊ぶぞ！」という温かい思いに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

今月号は、4月・5月の子どもたちの様子と、保育のねらいなど掲載します。自然とのかかわり、未就園児との活動、保育所との交流のきっかけ、関西万博への出展など、本当に充実した日々を送っている桃園幼稚園だと感じました。桃園幼稚園の教育は本当にすばらしいです！

ここだけでは、本当に書ききれないです！

1学期の終業式にもパワーポイントにしてお伝えします。



＜栽培から学ぶこと＞

畑がこんなに身近にあり、経験できる場として、また、子どもたちに生きる形で存在しているのは、素晴らしいです。ジャガイモ、タマネギを収穫し、そして先を見通して、スイカやキュウリ、カボチャなど栽培しています。子どもたちは自然を感じ、栽培し、収穫するというサイクルを体験で学びながら、花のあとに実がなることや、その美味しい作物を虫たちも大好きなことなど、身近に育てるからこそ学んでいることがたくさんあります。もちろんその裏には、ずっと継続して環境を整え、必要に応じてマルチをかけ世話をする先生たちの努力があってのことです。先生たちの日々の決してあきらめない、維持しようとする力にも頭が下がります。



＜色水遊び＞

色水遊びを楽しむ子どもたちです。花を使い、ゴリゴリとすりこぎとすり鉢を使って遊んでいます。大切な花ですので、使い方や使う量なども一つ一つ話し合い、進めているところです。

色水遊びも、子どもたちにとって大きな学びがあります。色の変化を科学的に楽しむので、知的好奇心が育ったり、水という形にならない教材は、様々なアイデアを引き出すことにもつながったりします。また、すり鉢とすりこぎを使って遊ぶので、手先の発達を促します。五感を使って遊ぶとても大切な遊びだと捉えています。

この遊びのため、春からの環境整備に、先生たちは花を育てていました。先を見通した環境整備の一つです。



＜島之内図書館＞

図書館では、絵本の読み聞かせをしてもらいました。絵本や組み木を使ってとても穏やかな口調で読み聞かせをしていただき、しつとりとその世界に浸っていました。子どもたちは普段、図書館を利用しているのか、とても静かに活動していました。その場にふさわしい態度でのぞめることは、とてもすごいことです。びっくりしました。

そして、次の日の朝、保育室には、組み木で遊ぶ姿が…。図書館で読み聞かせをしてもらった組み木がなんと、幼稚園にあったようです。また、それを次の日に出す先生の援助のすばらしさ…。一つ一つの経験がつながり、深い学びになっていると感じました。



＜子どもパーク＞

階段下のとても素敵な秘密基地のような空間を片付け、子どもたちの遊び場にしました！子どもたちが「子どもパーク！」と命名しました。「子どもたちしか入れないもんな！」と、素敵な名前の由来も教えてくれました。これからどんな遊びが展開されるのか楽しみです！また、靴をそろえるように環境を整えたり、安全のため、入口のアーチにソフトカバーをつけたり、子どもたちが安全に、また楽しく遊ぶためにアイデアを出し合い、先生や主事さんが整えてくれました。

幼児教育は環境を通して行います。子どもたちの「遊びたい！」の思いをどんどん叶えられるように、取り組んでいます。



明日も遊びたい！の気持ちを！

（写真左）朝の環境準備のためにシートをあけた砂場を見ると、昨日の遊びがそのままありました。これは、きっと「明日もこれをしたい」という子どもの思いをそのままに残しておいた柔軟な援助だと想像しました。また、写真右は、保育参加で保護者と一緒に遊んでいる写真です。次の日、子どもは「昨日の続きをする」と登園しました。この“続きをする”という気持ちこそが“意欲”であり、今後、学習につながる大切な思考のつながりだと思いました。気持ちがつながる遊びを保護者も、幼稚園も大切にしているんだなあと日々感動です。



長堀にじいろ保育園との交流

園庭で遊んでいると、隣の公園に来た保育園の子どもたちがこちらを見していました。「こんにちは！」と声をかけると、先生たちも返事をしてくれました。「一緒に遊びませんか？」と誘うと「いいんですか？」という笑顔がかえってきたところから、始まった幼保交流です！その日は一緒に園庭で遊んだだけでしたが、6月27日（金）桃園幼稚園で一緒に交流会をします！一緒に水遊びをしたいと考えています。

同じ地域で育つ子どもたちです！同じ小学校に行くかもしれないのに、公立・私立・保育園・幼稚園などは関係なく、連携していくらと思っています。



未就園児との交流

月2回未就園児との交流をしています。もちろん目的は幼稚園教育の発信でもあります、在園児と未就園児が一緒に遊ぶ中で、4歳児が小さいお友達に遊具を譲ってあげたり、一緒に手をもって遊んであげたり、とても優しい関わりがあります。小さい子どもたちのことをかわいいと感じ、かかわることで、労りの気持ちをもったりお世話をしたりすることで、お母さんから“ありがとう”と感謝されたり、素敵なかかわりが見られました。

5歳児も、受付をしたり、歌を披露したりお兄さん、お姉さんとしてとても立派な姿を見せてくれました。一つ一つの経験が子どもたちの自信になればと思っています。

能登半島地震の被災した方々の大好きな着物を使った作品

詳細はお手紙でお伝えしましたが、子どもたちが、能登の方々が大切にされてきた着物に触れ、その思いを受けて、△の形に布を切ったり、丁寧に貼ったり、作る活動を通して、能登の方々への気持ちを表現しました。この取り組みに参加するかどうか迷いましたが、この活動がいつか思い出され、復興の活動に参加したことを思い出す時がくるのではないかと思っています。着物の香り、金糸の生地の美しさ、絹の手触り、様々なことを、五感を通して、貴重な経験になったと思っています。

保護者の皆様も製作にご協力、ご理解いただき本当にありがとうございました。